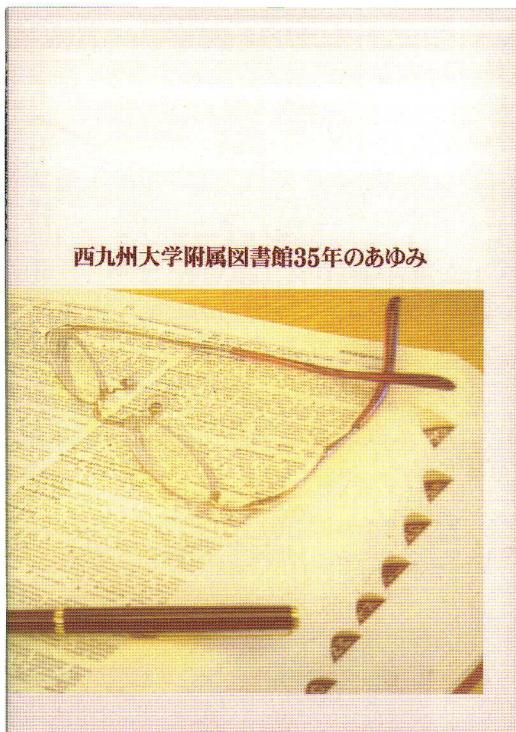


図書館だより *Serendipity*
-セレンディピティ-

2005(平成17)年
10月1日発行 第21号

発行：西九州大学附属図書館
<http://www.nisikyu-u.ac.jp/library/home.html>

図書館のこれまでを振り返り、新しい図書館像を!!



『西九州大学図書館35年のあゆみ』の刊行

水曜日夜間開館延長

10月から水曜日の閉館時間が19時50分になります。

これまで、17時30分に閉館しており、利用者の方にはご不便をかけていました。

教職員・学生の皆様の積極的な図書館の利用をお待ちしております。

『あゆみ』では附属図書館の35年間の歴史を、第1章「揺籃期」(1968~1977年)、第2章「基盤形成期」(1978~1993年)、第3章「理想の図書館像を求めて」(1974年~現在)にまとめて写真と文で描写しています。

☆「35年のあゆみ」は残部が少しありますので、贈呈をご希望の方は、カウンターまでお願い致します。

目 次

私のオススメの本	・	・	P. 1
保健管理センター長	・	・	植木千珠子教授
私と図書館①	・	・	P. 4
社会福祉学科4年	・	・	竹下 功二
私と図書館②	・	・	P. 5
健康栄養学科3年	・	・	石村 春美
図書館利用状況	・	・	P. 6
自己紹介(新任職員)	・	・	P. 7
電子図書館機能の紹介	・	・	P. 8

私のオススメの本

『ねむの木のこどもたちとまり子』

編：宮城まり子。 ねむの木学園。 定価 2,200 円

保健管理センター長 教授 楠本 千珠子

私が宮城まり子さんを知ったのは、医学部の学生の時です。彼女の舞台を観ました。

1963年4月、41歳のまり子さんは私財をなげうって、独力で日本初の肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」を開園されました。当時、発達障害の子どもたちは「就学猶予」という一枚の紙切れによって、学校に行かなくてよかったです。いや、行けなかつたのです。そんなのおかしい・・・学校に行けないなんて可哀想・・・国がやらないのなら、自分でやろうと決心されたのです。

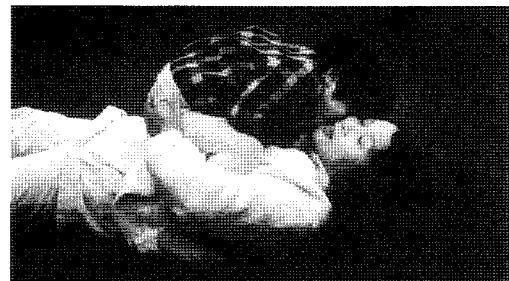
1983年6月、画集「ねむの木子ども美術館」が毎日新聞により出版されました。美しさ、やさしさ、生きる力を感じさせてくれる作品に心を奪われました。たくさんの絵の中にさまざまなり子さんが登場します。子ども達にこれほど好かれるまり子さんてどんな人だろう？これほど困難な仕事を続けさせているまり子さんの内発的動機は何なのか？興味津々でした。

ある日、雑誌でまり子さんのお母さんことを知りました。お母さんは1906年（明治39年）生まれ、カナダ系ミッショナリースクール静岡英和女学校では天才少女といわれ、5年制の女学校を3年で修了して、東京女子大学に進学しました。卒業後は奨学生としてカナダに留学が決まっていました。残念ながら、肺結核のため大学を3年で中退しました。その後、療養生活を経て結婚し、長女まり子、長男八郎を出産します。

お母さんの言葉

① 友達と喧嘩して、泣きながら帰宅した時

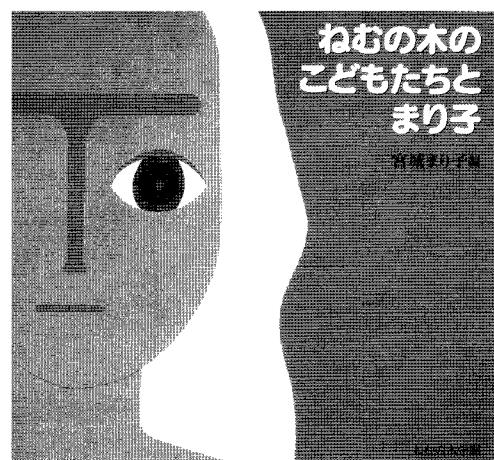
「あなたが泣いていると、泣かせた子は、その間中気になっている。泣かせた子



の方がつらいのよ。だから、早く泣くのをやめてね。」

② 家族の中で自分だけホクロが無いので、拾われ子でないかと質問した時

「まり子ちゃん、これは泣きホクロっていうのよ。お母さんは、病気になって、自分のやりたかったことができないでしよう。だから、泣きホクロ。まり子ちゃんはそんなことにはならないように、ホクロの代わりにエクボを付けてあげました。いっぱい幸せになるように2つも付けてあげたのよ」



1939年（昭和14年）、まり子さん12歳の夏、お母さんは旅立ちました。享年33歳でした。「まり子ちゃんごめんなさい。みなさんありがとうございました。」最後に父親に連れられてやって来た弟に「八郎ちゃん、お外はとても暑いから、白い帽子をかぶつて出るんですよ。」

普段と変わらない言葉で、それだけ伝えてから亡くなりました。体を震わせて泣く弟の細い首の薄い汚れが目にしました。母が一年も入院していたために、きれいに洗ってもらえなかったのね。父と弟は別の所で生活していましたので、私は弟の肩を抱いて母になろうと思ったの。こうして、泣いている子を慰めてあげようと思ったの・・・。

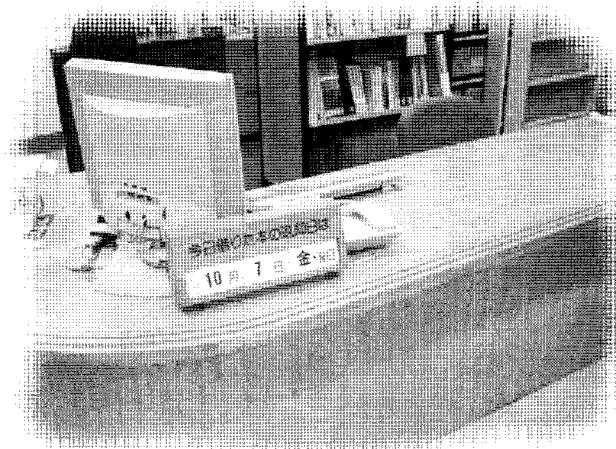
2005年7月28日、画集「ねむの木のこどもたちとまり子」を購入しました。声をあげそうなほど、うれしい絵がいっぱいしまった本です。絵に立ちこめる無垢な魂の美しさと強さはすばらしいものです。一人でも多くの人に、このよろこびを届けたいと思いました。絵画展は世界各地で87回も開催されています。

カウンター

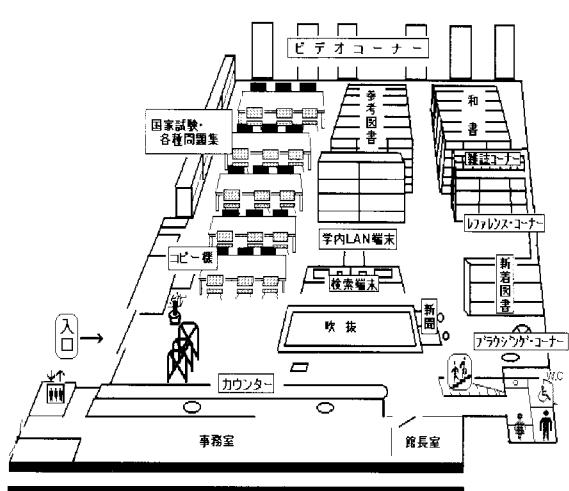
カウンターは図書館に入館するすぐにあります。

このカウンターでは、資料の貸出、返却などを行っています。また、図書館に関する質問や所蔵資料に関する質問も受け付けています。

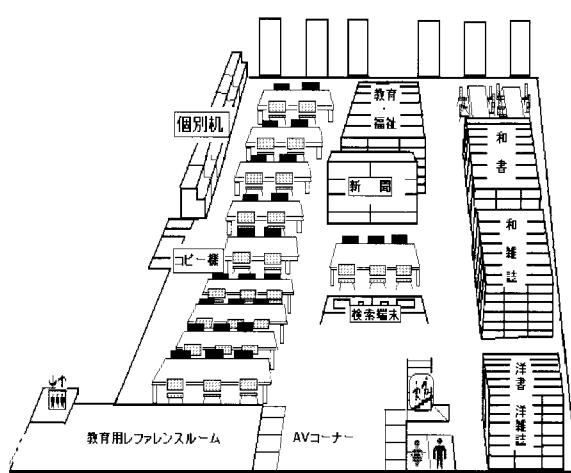
前回ご紹介しましたレファレンスコーナーでは調査が必要な高度な質問を受け付けていますが、カウンターでは資料がどこにあるか、図書館の利用方法など、比較的簡単な質問を受け付けています。



1 階



地下1階



私と図書館 ①

社会福祉学科 4年 竹下 功二



私が図書館と聞いて思い浮かぶイメージは『静寂でどこか緊張感を持たせる場所』です。私は本を読むのは好きですがそういった雰囲気では読まないので「読書」をしに図書館に行くことはありません。

しかし、大学に入学して、レポートや試験勉強などで自然と利用頻度が多くなったように思います。やはり、真剣に問題を解いたり、レポートの内容を考えたりするのはある程度緊張感があるほうが集中してとりかかるのではないでしょうか。最近では勉強をしに図書館に行くこともあります。

図書館を利用していると色々な人をみかけます。調べものをしてすぐ帰る人、友達とみんなで勉強をしに来る人、パソコンを利用しに来る人、読書をしに来る人など真剣に利用している人が大半です。確かに、誰もあまり話さないし、真剣な表情をしている人がたくさんいて緊張しますが、利用してみると気づくことがあります。

それは、自分が周りの人と同じように真剣な顔をして図書館を利用していることです。

「真剣に張りつめた空気が苦手」という人がいるのはよく分かりますが、利用してみると以外と集中して色々なことに取り組めます。勿論、集中すればそれだけ疲れます。でも、疲れたらその度に外に出て休めばいいだけのことです。

このように私にとって図書館とは集中して課題に取り組める場所だと思います。

最後に私が言いたいことは、とにかく何度も利用して自分に合った利用方法を探してみてほしいということです。何度も足を運んでいるうちに自然と自分に合った図書館の利用方法が見つかればきっと楽しく図書館を利用できると思います。1、2年次生の皆さんもいずれ3、4年になった時に利用することになるので今のうちに利用して自分に合った利用方法を探してみてください。



※よく使う用語なので覚えてください！

☆ 参考図書（さんこうとしょ）

一般的の図書とは異なり、必要な情報を探る時に使う一定の体型に配列してある資料のことをいいます。辞書・事典、便覧、年鑑、白書、地図、資料集、書誌・索引・抄録などをいいます。

☆ 禁帯出図書（きんたいしゅつとしょ）

図書館内での閲覧のみで、館外への貸し出しを認めない資料のことをいいます。通常では、参考図書、地図・楽譜などの特殊な資料、新聞・雑誌の最新号、貴重書が多いです。

私と図書館 ②

健康栄養学科 3年 石村 春美



大学に入学するまでは図書館は堅苦しく行きづらいというイメージがあり、利用する機会はほとんどありませんでした。入学してからはレポートを仕上げるために図書館を利用するようになりました。最初はレポートの調べ物をすることだけが目的でした。しかし、文献を調べるためにたくさんの本を眺めるうちに料理のレシピ本や雑誌など色々な種類の本が置かれている事を知り、図書館はとても利用しやすい場所へと変わってきました。それからは、レポートで行き詰った時など気分転換に雑誌を読んだりしています。

また、毎月発行される「栄養と料理」や「食生活」など、管理栄養士を目指す私達にとって読むべき本もたくさん置かれています。毎月自分で購入するのは大変なのでとても便利です。

また、私はレポートだけでなくテスト勉強のためにもよく図書館を利用します。テスト前は図書館を利用する人が多くなるので、人が通ると集中できなくなってしまうこともあるのですが、この図書館には1つ1つに仕切られた個別机があるので集中して勉強をすることができます。

昔の私のように、図書館は難しい本ばかりが置いてあると思いの方もいるかもしれません。しかし、西九州大学の図書館には栄養についての雑誌や旅行の本など私達が普段読むような本もたくさん置かれています。また、調べたい文献があるときはパソコンで調べることが出来るので大変便利です。

今まで図書館を利用する機会が少なかった人にも気軽に利用してほしいと思います。

トピックス

○ 図書館内学内LAN端末、新たに5台増設

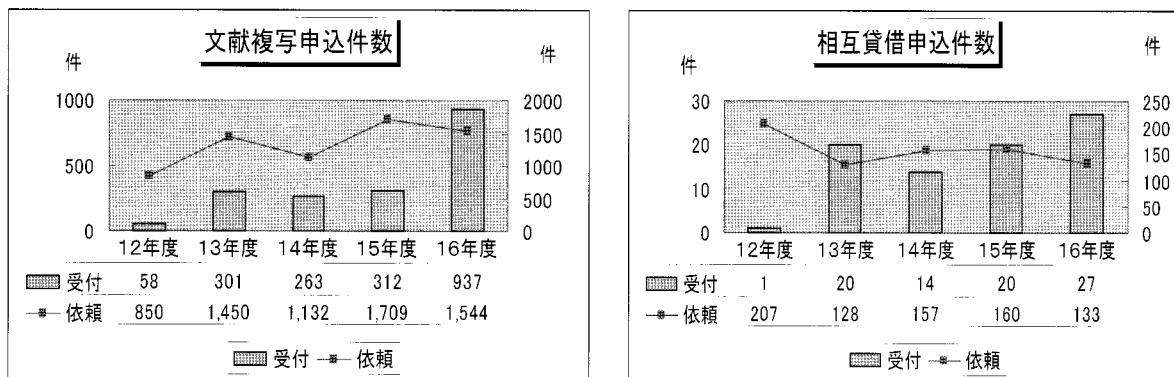
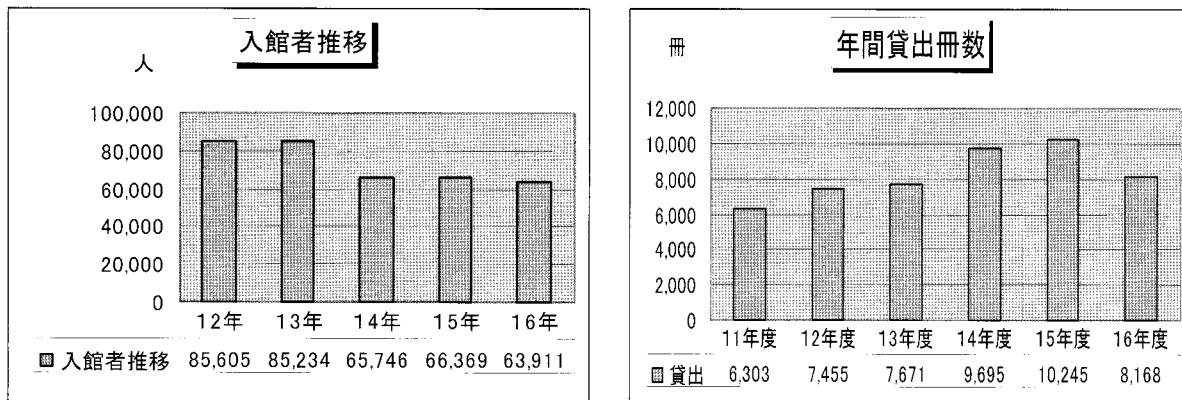
現在5台ある学内LANの端末を、10月より5台増設し、あわせて10台設置されることになりました。

また、現在の5台の端末とプリンターも、この10月にリプレイスされます。これにより、これまで以上に質の高いサービスが提供できるようになり、インターネットを利用した文献検索も便利になります。

皆様方の積極的な利用を期待します！



図書館利用状況



ガイダンス参加状況
(平成16年度)

期間：4月11日～12月9日
回数：59回
参加者：学生 425人
院生 13人
教職員 19人

学外者の利用状況
(平成16年度)

16年度 利用者数 220人 貸出冊数 181冊

自己紹介

・・・図書館の新メンバーです！



篠原和秀

私は、この4月から西九州大学附属図書館に勤務することになりました。

図書館も電子図書館化になり、利用者への情報提供が、冊子体からデータベースによる文献検索で行われる時代になりました。

今後、西九州大学への理解を深めるとともに、情報化時代に向いIT型図書館の実現にむけて努力することで、一人でも多くの利用者の手助けができるようにしたいと 思います。

どうぞ宜しくお願ひいたします。

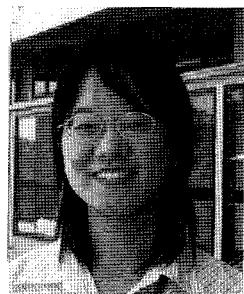
こんにちは。4月より図書館で働いています、小山陽子です。

主に寄贈雑誌の受入や、図書の発注を担当しています。図書館を利用している時に、“こんな本があったらいいなあ”と思う時がありますか？そんな時は是非リクエストしてください。

皆さんの希望にそえるように頑張りたいと思っています！！



小山陽子



吉永恵美

こんにちは。4月より図書館で働いています、吉永恵美です。

主に、カウンター業務と雑誌の受入を担当しています。カウンターにいる時間が長いので、皆さんと接する機会が多いと思います。何かわからないことがあった時は、気軽に声をかけて下さい。

皆さんのお役に立てるよう頑張ります。宜しくお願ひします。

平成17年度アクションプログラム

平成17年度も昨年度に引き続き、IT型図書館をめざし構想を進めます。更に、郷土関係の文化や栄養、福祉に関する資料の収集を行うために、地域コレクション委員会を設置することになりました。

※17年度の課題

1. IT型図書館としての拡充整備構想
2. 電子図書館のためのシステムの整備
3. 地域コレクション検討委員会の設置

電子図書館機能の紹介

● GeNii（ジーニー）の導入

平成17年4月より、NII学術コンテンツ・ポータル“GeNii（ジーニー）”の運用が開始されました。

これにより、平成16年度まで利用してきた「NACSIS-IR」は「CiNii（サニー）」へ、「NACSI-S-webcat」は「WebcatPlus」へと移行され、論文情報・図書や雑誌の所蔵情報、科学研究費補助金研究課題や成果、分野別専門情報をなどを個別に利用できるサービスとともに、全てのコンテンツをまとめて検索できる機能も利用できるようになりました。

各データベースを個別に利用する時は、Internet Explorerでのみ利用可能です。

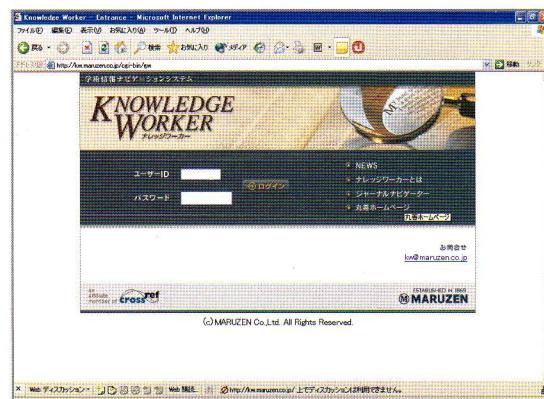


● KNOWLEDGE WORKER（ナレッジワーカー）の導入

今年度より、学術情報ナビゲーションシステム「Knowledge Worker（ナレッジワーカー）」を導入しました。

Knowledge Workerは洋書・和書・外国雑誌のコンテンツ検索（英国国立図書館が収集する世界の主要な学術雑誌の目次情報から文献検索）ができます。

その他、アラート機能（有料：年間6,000円）の契約により、登録したキーワードが含まれる論文情報や新刊図書情報（洋書、和書）を、週に1回自動的にメールで配信するというサービスも行っています。



※ 使用料金の関係上、教員のみのサービスになっています。

※ 機能の中に図書の発注、文献複写受付の機能がありますが、会計上の都合、ここでは受付していません。

編集雑感：

第21号は、10月から水曜日も夜間開館を開始するという新サービスやGiNii、Knowledge Workerといった新しいデータベースの紹介など、利用者の皆さんに是非お知らせしたい内容を紹介しています。また、前号に続いて、本学の先生による「私のオススメの本」や学生代表の方の「私と図書館」を掲載しています。4月から新しく加わった図書館員の「自己紹介コーナー」も設けました。この図書館だよりが、利用者の皆さんと私たち図書館員との交流に、少しでも役に立てればと思います。